

令和5年度 広島県病害虫発生予察情報 技術情報第4号

令和5年10月24（火）発表 広島県西部農業技術指導所

～ねぎ等のねぎ属作物 ネギハモグリバエB系統の発生地域拡大に注意～

露地ねぎ栽培ほ場で、ネギハモグリバエB系統とみられる被害が拡大しています。

ネギハモグリバエの発生に注意し、被害が発生しているほ場では、被害葉や収獲残渣を適切に処分しましょう。

発生概況について

- (1) 県中西部（東広島市）の露地ねぎ栽培ほ場で、被害面積が拡大し、他の地域での被害が懸念されたため、県内の発生状況について一斉調査を実施しました。
- (2) 調査の結果、三原市、福山市、三次市、庄原市、東広島市、安芸高田市、北広島町、世羅町でネギハモグリバエB系統とみられる被害を確認しました（被害発生ほ場率38.9%、被害面積3.1ha）。
- (3) 昨年度、被害が確認された神石高原町を含めると、これまでに9市町で被害が確認されています（図1）。

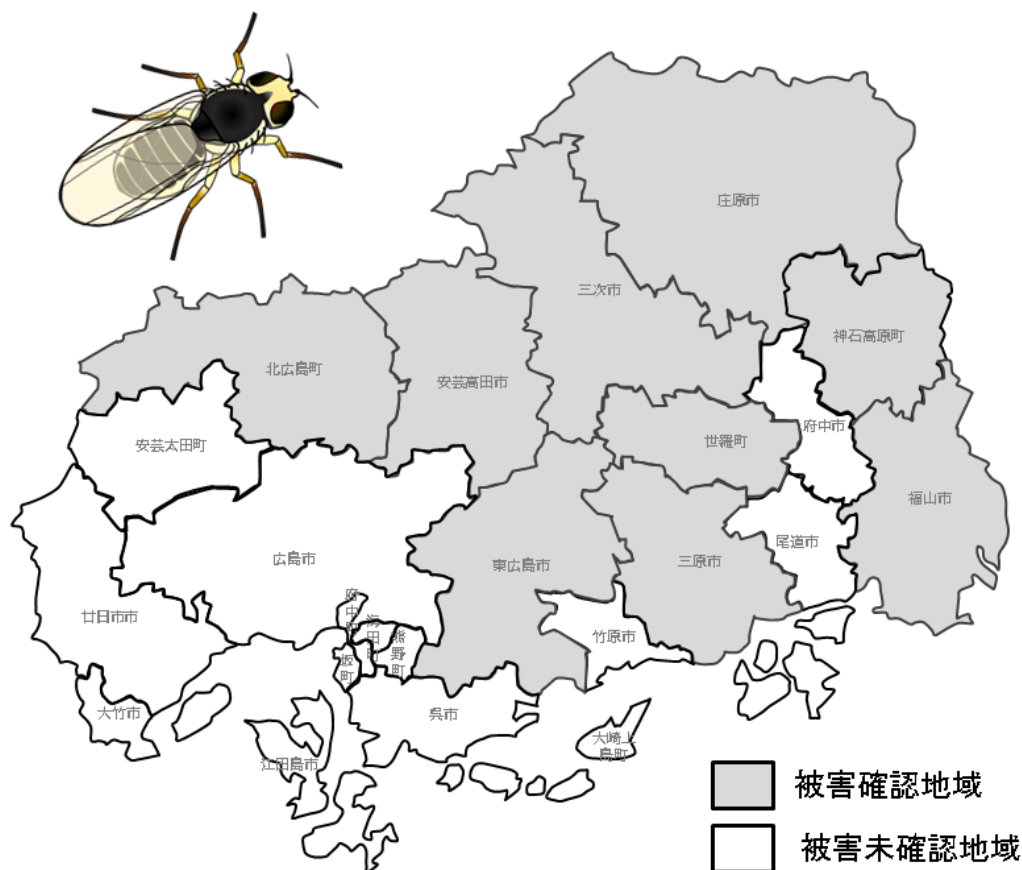


図1 ネギハモグリバエB系統 被害確認地域（令和5年10月19日現在）

被害について

- (1) B系統による被害は、複数の幼虫が近接して葉肉を摂食し、白い筋状の穿孔を作り、特に葉先の白化・枯死(図2)により生葉数が減少するなど、従来のA系統(図3)とは異なります。



図2 B系統の食害により白化したねぎ



図3 A系統の食害を受けたねぎ

防除対策について

- (1) 被害葉および収穫終了後の茎葉は発生源となるため、ほ場には放置せず、土中に埋設するか、ビニール等で被覆し、適切に処分してください。
- (2) 薬剤防除については、8月24日発表の技術情報第1号を参照してください。

● お問い合わせ先

広島県西部農業技術指導所 植物防疫チーム
〒739-0151
東広島市八本松町原 6869
TEL : 082-420-9662 (直通)



ひろしま病害虫情報

検索

ひろしま病害虫情報

(<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/byogaichu/>)